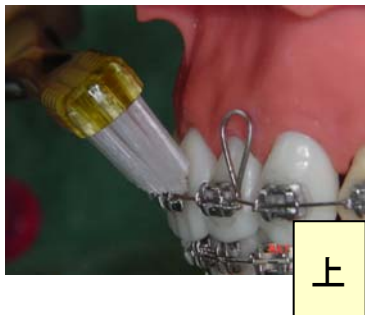


## 矯正治療中の歯磨き方法： 歯の外側の装置

通常の歯ブラシや磨き方ではブレース周囲の汚れ（食片や歯垢）はきれいになりません。普通の歯ブラシと併用して、**矯正専用の歯ブラシ**（バトラー#124：V型カット，#121P：凸型カット，下図）の使用をお勧めしています。



装置の上部を磨く時は、歯ブラシの毛先を少し歯肉の方へ傾けて細かく磨くと、歯と歯肉の境目がよく磨けます



上



間



下



**奥歯周囲**：歯磨きにくい部位ですが、装置と歯肉の間を特に注意して時間をかけて磨きましょう。



**ループ周囲**：ループの下から歯ブラシの毛先を入れるように磨きます。



**こんな場合・・・?!**

歯垢がたまると左図のように歯肉が腫れて（**歯肉炎**）装置にかぶさってきたり、歯磨きすると出血したりします。出血するからといって歯磨きを怠っていると余計に炎症はひどくなります。